

子ども委員会のよりみちコラム

作成者：三上詩織

作成日：令和8年1月7日

特別支援教育と作業療法フォーラムを終えて

12月6日オンラインにて、「特別支援教育と作業療法フォーラム」を開催致しました。県内外の作業療法士、学校や園の先生、児発や放デイ職員など、総勢85名から参加申し込みがされました。今回は、うめだ・あけぼの学園 学園長、作業療法士の酒井康年先生に、「私たちは生活リズムをどう捉えるか？」というテーマでご講演頂きました。酒井先生には、以前のフォーラムでもとても学びとなるお話をして頂きましたが、今回も参加者から多くの好評の声が寄せられました。作業分析をもとに生活リズムも支援されるべきということ、また、作業療法士が介入できるポイントがたくさんあることにも気付くことができ、大変勉強になりました。本人も家族もハッピーに過ごせるよう、今後の支援に活かしていきたいと思います。酒井先生、ありがとうございました！！

多くの方からのご参加をいただき、この領域への関心の高さが伺えました。また広大な面積の岩手においては、オンラインは有効な参加手段の一つであり、多くの方からも開催方式にご好評をいただいておりますので、今後もオンライン開催の必要性を感じました。そしてなにより、春頃から準備を進めてきて無事に開催できて良かったです。領域・経験・地域などが全く異なる委員会メンバーが互いに気遣い、尊重し合い、力を合わせてひとつのものを作り上げていくことの素晴らしさに改めて気付くことができ、勝手に感動してます(涙；今年こそ頑張ります…！)。

今年も県士会員のみなならず、県民の皆さんに情報発信を行い、特別支援教育領域における作業療法の普及・啓発活動を継続してまいりますので、子ども委員会をよろしくお願い致します☆

